

定款第4条（目的）

本会は、建築士の品位の向上及び業務の進歩改善に資するため、崇高な社会貢献理念のもと、人間性の形成、建築技術に関する研修並びに指導及び連絡に関する事務を会員の協力によって行い、もって建築文化の進展、建築物防災対策等による県民の生命及び財産の保護並びに公共の福祉の増進に寄与し、広く社会に貢献することを目的とする。

本会が、令和4年度中に行った地域貢献活動を以下のとおり公表します。

令和5年5月19日

一般社団法人岡山県建築士会 地域貢献活動本部 本部長 塩 飽 繁 樹

一般社団法人岡山県建築士会  
令和4年度 地域貢献活動一覧

1 / 10

活動分類	番号	事業名	概要	対象	実施時期	場所	担当
住まい	1	住宅よろず相談会 	<p>各支部が実施主体となって、定期に又は不定期に、県民の住宅（マンションを含む。）の、計画・リフォーム・施工・耐震・維持管理・近隣関係・空き家対策、その他困りごとに対して無料で建築士が対応している。住宅よろず相談は、平成23年度から始めており令和4年度で12年目となる。相談員の登録数は全支部で52名となっている。なお、岡山支部の「住宅よろず相談」は、岡山市から後援をいただいている。</p> <p>開催日及び開催場所は次のとおりである。 岡山支部及び西大寺支部の共催 毎月第2土曜日 於：岡山ふれあいセンター 東備支部 毎月第3土曜日 於：赤磐子どもNPOセンター 玉野支部 毎月10日 於：玉野市役所又は玉野水道庁舎 倉敷支部 奇数月の第3金曜日 於：倉敷市役所 津山支部 偶数月の第4木曜日 於：津山市役所 井笠支部 不定期（開催場所は、その都度決定）</p>	一般県民	通年	概要欄参照	住宅相談事業委員会  各支部

一般社団法人岡山県建築士会  
令和4年度 地域貢献活動一覧

2 / 10

活動分類	番号	事業名	概要	対象	実施時期	場所	担当
まちづくり	2	<p style="text-align: center;">岡山県 令和4年度 景観行政団体移行促進業務</p> <p style="text-align: center;">『矢掛町まち歩きワークショップ』 ～ 絵マップを作ろう ～</p> <p style="text-align: center;">共催：矢掛町教育委員会</p>	<p>地域の良好な景観形成は、生活環境の向上等住民の生活に密接に関係する課題であることから、住民、市町村職員等を対象としたワークショップを開催することで、景観や環境について知識や関心を深め、積極的に景観の保全や創出に取り組むとともに、市町村における良好な景観の形成に関する施策の策定を促すことを目的に開催した。</p> <p><b>【午前】</b> 4～5人のグループに分かれて、矢掛町矢掛宿伝統的建造物群保存地区周辺のまち歩きを行った。地元住民への聞き取りやスケッチ、写真などで情報収集するとともに、残したい街並み、様々な景観や歴史の足跡、新しい発見を探し、問題点や課題も見付けた。</p> <p><b>【午後】</b> まち歩き景観調査で得た情報を絵マップに仕上げた。気付きや自慢の箇所、問題点等をスケッチ、写真、説明文などで表現した。</p>	地域住民等	11月23日 (水) 勤労感謝の日	矢掛町  伝統的建造物群保存地区周辺	<p>教育・事業委員会</p> <p>協力 青年部会 岡山ヘリテージマネージャー機構 井笠支部 その他</p>



まち歩き



絵マップ作成中



表彰

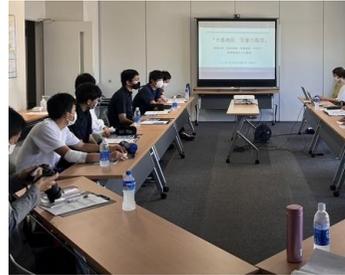
一般社団法人岡山県建築士会  
令和4年度 地域貢献活動一覧

3 / 10

活動分類	番号	事業名	概要	対象	実施時期	場所	担当
防災	3	『次世代と取り組む防災減災』  児島元浜・大島地区 町歩きワークショップ	<p>次世代を担う若者たちに「災害に強いまちとは」「災害とどのように付き合うか」といった未来像を描いてもらうことを目的に開催した。</p> <p>参加者は、県立鷺羽高校の生徒5名と先生1名。この地区は、平成16年に台風による高潮被害、平成30年には土砂災害という履歴があり、かつ、ハザードマップでも土砂災害特別警戒区域・津波浸水深も1～3mと予測されている。</p> <p>町歩きでは、防潮堤に設置されている高潮被害時の潮位を示す表示板や電柱に示された津波注意の表示板を生徒たちと一緒に確認した。途中で、平成16年の高潮被害に遭った地区の自治会長から当時の状況をヒアリング。その後のワークショップでは、町歩きの振り返り、ハザードマップの見方の研修、土嚢を使った浸水圧体験などを行った。</p> <p>なお、このときの成果は、10月19日(土)にイオンモール岡山「おかやま未来ホール」で開催された『建築フェス2022』で、参加した生徒から発表された。</p>	岡山県立鷺羽高等学校  3年生 (5名)	8月1日 (月)	倉敷市 児島  元浜地区 大島地区	児島支部  倉敷支部



町歩き

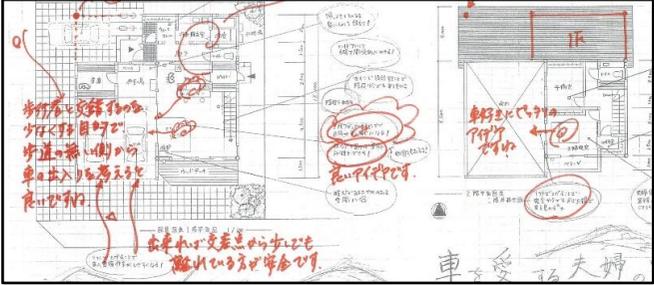


ワークショップ

一般社団法人岡山県建築士会  
令和4年度 地域貢献活動一覧

活動分類	番号	事業名	概要	対象	実施時期	場所	担当
建築人材育成	4	岡山県立岡山工業高等学校への 出前授業  『確認申請シミュレーション』	<p>岡山工業高校 建築科 2年生を対象に毎年度実施しており、令和4年度で9回目となる。建築設計事務所や工務店等に就職すると、最初に担当する作業が建築確認申請ということが多々ある。学校の授業ではなかなか扱われない建築確認申請の実践を体験することで、どういったものか、どのような流れで申請が進んでいくのか等を体験してもらう授業である。</p> <p>木造2階建て専用住宅を題材に確認申請書類を作成する授業。生徒は、課題となる住宅の配置図、平面図、立面図を自分で読み解き、面積計算や採光計算等を行った上で、確認申請書、建築計画概要書、工事届を作成する。書類が完成したら、建築基準適合判定資格者(役)に提出しチェックを受けた後、確認済証の交付を受ける、という2時間のシミュレーション。</p> <p style="text-align: center;"><b>課題として出した住宅の立面図</b></p> 	岡山県立岡山工業高等学校 建築科 2年生	12月13日 (火)	岡山県立岡山工業高等学校内	教育・事業委員会

一般社団法人岡山県建築士会  
令和4年度 地域貢献活動一覧

活動分類	番号	事業名	概要	対象	実施時期	場所	担当
建築人材育成	5	<p>『第57回工業高校建築設計競技会』</p> <p>《課題》</p> <p>車好きな夫婦の家</p> <p>～愛車の居場所をデザインする～</p>	<p>岡山県立の工業高校4校(※)の建築科3年生を対象に毎年度実施している建築設計競技会である。事前に課題を出した上で、当日詳細な設計条件を提示して、生徒は5時間で平面図、立面図、断面図を仕上げるといふ建築士設計製図試験並みにハードな設計競技会であるが、令和4年度で第57回を迎えた。各校の代表者5名、計20名の生徒が今年度の課題「車好きな夫婦の家」に挑み、その日のうちに公開審査会・講評までを行った。生徒にとっては自分の実力を計ることができ、かつ、他校の生徒の作品を見る貴重な機会ともなっている。なお、後日、全作品について詳細な講評を送付し、アドバイスをを行った。</p> <p>※工業高校4校 岡山県立岡山工業高等学校 岡山県立東岡山工業高等学校 岡山県立水島工業高等学校 岡山県立津山工業高等学校</p> <p>生徒20名の作品は、10月29日(土)・30日(日)にイオンモール岡山「おかやま未来ホール」で開催した『建築フェス2022』で展示し、一般の方々に見ていただいた。</p> <p style="text-align: center;">講評「赤ペン先生」の一例</p> 	<p>県立工業高校 建築科3年生 20名</p> <p>岡山工業 東岡山工業 水島工業 津山工業</p>	<p>8月5日 (金)</p>	<p>岡山県立 津山工業 高等学校 内</p>	<p>教育・事業 委員会</p>

一般社団法人岡山県建築士会  
令和4年度 地域貢献活動一覧

活動分類	番号	事業名	概要	対象	実施時期	場所	担当
建築人材育成	6	第53回 住宅設計コンペティション	<p>岡山県立津山工業高等学校建築科の1・2年生を対象とした住宅設計の設計競技を開催した。なお、この事業は毎年度開催しているもので、令和4年度は第53回目である。</p> <p>今回の設計課題は、『アウトドアを楽しむ住宅』であった。近年のコロナ禍の影響で「家で過ごす時間の充実」の必要性を踏まえた課題設定である。</p> <p>応募総数74点の中から工業高校の先生による一次審査を通過した22点が提出され、津山支部調査研究委員会にて二次審査を行った。5月13日(金)に(株)荒木組津山営業所プレゼンテーションオフィスにて表彰式を、5月13日(金)～27日(金)にアルネ津山内にオープンしたシェアオフィス“COTOYADO(コトヤド)”において作品展示をした。単に、高校生に設計の勉強をしてもらうだけでなく、それらを広く市民に見てもらうことで、高校生の励みにもなっているようである。</p> <p><b>【表彰式での作品講評の様子】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	岡山県立 津山工業 高等学校  建築科  1・2年生	5月13日 (金)  表彰式   5月13日 (金) ～ 5月27日 (金)  作品展示	《二次審査》 津山工業高校  《表彰式》 (株)荒木組 津山営業所  《展示会》 アルネ津山内 シェアオフィス COTOYADO (コトヤド)	津山支部

一般社団法人岡山県建築士会  
令和4年度 地域貢献活動一覧

7 / 10

活動分類	番号	事業名	概要	対象	実施時期	場所	担当
建築人材育成	7	『30代で建てる理想のマイホーム』  岡山県立岡山芳泉高等学校  建築模型の製作指導	<p>岡山県立岡山芳泉高等学校は普通科高校であるが、将来建築分野に進みたい生徒のために、美術の先生と共同で企画・実施したものである。</p> <p>本来の授業ではないため、生徒から参加希望を募ったところ9名の手があがった。本課外授業の状況は次のとおりである。</p> <p>《1回目》7月15日(金) まずは講義。模型製作にあたっての敷地設定を説明した後、用途を別荘として課題を提示した。そして、模型を完成させるまでの作業プロセスや模型作成手法の説明を行った。</p> <p>《2回目》10月7日(金) 中間時点での説明を行った。</p> <p>《3回目》3月22日(水) 完成模型により、各自プレゼンテーションを行ってもらい、講評をした。</p>	岡山県立岡山芳泉高等学校  希望者9名	7月15日(金)  10月7日(金)  3月22日(水)	岡山県立岡山芳泉高等学校内	東備支部
			 <p>生徒によるプレゼン</p>				
			 <p>生徒たちによる意見交換</p>				

一般社団法人岡山県建築士会  
令和4年度 地域貢献活動一覧

活動分類	番号	事業名	概要	対象	実施時期	場所	担当
人材育成・その他（県産材の利活用）	8	みんなで育てよう 『伊部つながりの森』	<p>備前市内の小学校（伊部小学校、東鶴山小学校、香登小学校、伊里小学校）の5年生113名が、伊部つながりの森で校外授業を行った。</p> <p>子どもたちは、まず、地域の環境における森の役割の話聞き、その後、松の植林やシイタケの植菌などの作業を行った。松は、育つと備前焼の燃料になるものであり、地域性が反映されている。</p> <p>その中で、東備支部は、森の役割の講義と植林・植菌作業のサポートを行った。</p>	<p>備前市内の 小学5年生</p> <p>113名</p> <p>伊部小学校 東鶴山小学校 香登小学校 伊里小学校</p>	2月15日 (水)	伊部 つながりの森 (備前市伊部)	<p>東備支部</p> <p>共催</p> <p>片上・伊部 つながりの森 実行委員会</p>



「森の役割」説明風景



植林した松



看板「植林をした表示」



シイタケの植菌作業

一般社団法人岡山県建築士会  
令和4年度 地域貢献活動一覧

9 / 10

活動分類	番号	事業名	概要	対象	実施時期	場所	担当
建築人材育成	9	建築士さんといっしょにつくろう！  『お菓子の家』	<p>7月1日の「建築士の日」を記念するとともに、岡山県建築士会創立70周年記念事業の1つとして開催したものである。</p> <p>子どもたちが大好きなお菓子を材料として、自分たちが住んでみたいお家を作ろうというイベントで、子どもたちに建築士の仕事を体感してもらうことにより、将来なりたい職業の選択肢の1つとして建築士もあることを知っていただくことを目的としている。</p> <p>小学生と親の2人1組でお菓子の家作りに挑戦。まずは、あらかじめ用意しているクッキー素材の壁・屋根等のパーツをチョコペンで接着し組み立てていく。家の形ができたならそれにお菓子やトッピング材を使ってデザインしていくというもの。みんなの自分の住みたい家ができたなら最後にそれらを並べて街並みを作った。</p> <p>子どもたちは、いろいろ考え、試行錯誤し、お家をデザインするという正に建築士の業務を体感し、最後にはそれらがつながって街並みができるということもよくわかってくれたようだった。</p>	小学生と保護者  (2名1組)	6月26日 (日)	岡山ガス ショールーム アスパラガス  (岡山市北区 下石井)	本会  創立70周年 記念事業準備会 等
			 <p>「お菓子の家」製作中</p>				
			 <p>「街並み」完成</p>				

一般社団法人岡山県建築士会  
令和4年度 地域貢献活動一覧

10/10

活動分類	番号	事業名	概要	対象	実施時期	場所	担当				
その他（建築・建設業の普及・啓発）	10	『建築フェス2022』	<p>岡山県建築士会創立70周年を記念し、一般の方々の建築・建設業等への理解を促進することを目的としたイベント『建築フェス2022』を2日間に渡って開催した。建築・建設業等の普及啓発・理解促進が目的であるが、高齢化や人材不足が問題となっている本業界への入職促進の効果も期待している。</p> <p>『建築フェス2022』では次のようなイベントを開催した。</p> <p>【講話「次世代と取り組む防災減災」】 高校生と一緒に防災減災を考えるパネルディスカッション</p> <p>【建築家のたまご展】 建築系の高校、専門学校、大学からの出展による作品展示</p> <p>【ワークショップ】 職人の技術を体験するワークショップ。ヒノキの箸づくり、漆喰を使ったどろだんご作り など</p> <p>【稲葉なおと講演会】 紀行作家・写真家で一級建築士、稲葉なおと氏の講演会。 「人」に焦点を当てた建築の話</p> <p>その他、【講話「神主さんのボヤキ ～意外と知らない建築儀礼～」】【学生対話イベント】【企業ブース出展】【スタンプラリー】など</p>	一般県民	10月29日 (土)  10月30日 (日)	イオンモール岡山  おかやま未来ホール	<p>本会</p> <p>「公共建築の日」及び「公共建築月間」中国地方実行委員会</p> <p>【協力】 一般社団法人日本建築学会中国支部岡山支所</p> <p>【後援】 岡山県教育委員会 岡山市 岡山市教育委員会 倉敷市 倉敷市教育委員会</p>				
			 <p>建築家のたまご展</p>				 <p>ワークショップ「やりがんな体験」</p>				